

[実践研究]

英語教育研究会の取り組みが
中・高英語教員を目指す学生に
もたらす効果に関する実践研究

井上 茂

A Practical Research on the Effects that a Preparation
Course of the English Education Study Group Brings
About on Applicants' Results of the English Teacher
Employment Examination
for Junior and Senior High School Teachers

INOUE Shigeru

In this paper, I focus and report on a preparation course for the English Teacher Employment Examination conducted by Chiba Board of Education which all the applicants who wish to be English teachers in junior and senior high schools are supposed to take. The English Education Study Group, which is organized at Keiai University, provides various opportunities to enable the applicants at our university to pass the exam through the preparation course. As all of the programs in the course are positioned as extracurricular activities, this paper clarifies the programs that our English Education Study Group runs and the effects.

1. はじめに

敬愛大学国際学部には英語教職課程が設置されているため、国際学部
に国際学科及びこども教育学科があった時は両学科の希望する学生が英
語教職課程を履修していた。2020年度から小学校で教科「外国語」が導
入されたため、2021年度にこども教育学科が国際学部から教育学部に移
行した後も、2022年度現在、教育学部こども教育学科の各学年約30名の
学生が国際学部設置されている英語教職課程を履修している。ただし、
ほとんどの教育学部こども教育学科生の英語教職課程履修の目的は、副
免許としての英語教員免許状取得である。

一方、国際学部国際学科の英語教職課程履修者は各学年10名前後いる
が、半数が中高英語教員を目指し、残り半数は英語教員免許状取得のみ
で他の職業に就いている。

両学科の英語教職課程履修学生の進路希望をまとめると、英語教員免
許状取得のみを考えている学生が例年35名程度、英語教員免許状を取得
し、英語教員採用選考を受験する学生は平均すると5名程度に限られる。

英語教員採用選考受験者数

受験年度	国際学科	こども教育学科
2020	4	1
2021	2	0
2022	10	0

※2022年度はのべ数

英語教職課程の内容及び評価規準は、小学校に教科「外国語」が導入
された影響で、2021年度以前よりも上がっているため、本学の学生にと
って、英語免許状取得ですら簡単ではないと言える。また、たとえ英語
教職課程を優秀な成績で修めて英語免許状が取得できても、英語教員採
用選考に合格するためには更なる英語力・指導力の向上及び他の人と協

働できる資質・能力の向上が求められる。

したがって、本英語教育研究会（以下、「本研究会」）は、中高英語教員を目指す学生を対象にカリキュラムに含まれない対策講座（課外活動）を実施し、英語教員採用選考に現役合格させ、英語教員として中高生の英語力向上に貢献できる人材を養成することを目的として活動している。ただし、筆者が主宰する本研究会の活動のすべてが課外活動であり、授業のコマにもカウントされないものであるため、スタートした2017年度当初は、英語教職課程の学生にしか存在を知られていない研究会であった。

しかし近年では、本研究会で鍛えられ、現役で英語教員採用選考に合格する学生が徐々にではあるが増えてきており、卒業生の現役中高英語教員が支援してくれるという体制にまで発展してきた。現在では、本学のホームページにも本研究会の記事が掲載されるようになり、学生募集にも役立つようになった。

英語教員採用選考合格者と本会員との相関（人数）

受験年度	受験者数（内会員数）		合格者数（内会員数）	
2017	1	(1)	1	(1)
2018	4	(4)	2	(2)
2019	0	(0)	0	(0)
2020	5	(5)	4	(4)
2021	2	(2)	0	(0)
2022	10	(9)	6	(6)

※ 2022年度はのべ数

これまでの合格者は全員本研究会の会員であった。2018年度卒業の不合格者2名も、1名は講師を経て、もう1名は千葉大学大学院を経て、無事英語教員採用選考に合格し、現在中学校英語教員をしている。

2020年度、2021年度卒業の不合格者は、講師を務めながら合格を目指し、現在も努力を続けている。

2. 本研究の目的

- (1) 本研究会の対策講座のすべてが自主的活動であり、担当する教員が1名であるため、他からは見えない暗黙知となっておりこの状況を形式知に変換する。
- (2) 現在担当の教員の退職時期が迫っているため、本実践研究の報告が引継ぎを兼ねる。
- (3) 中高英語教員志望の学生のほとんどが入会しており、合格者は全員会員であることを踏まえ、本研究会の対策講座が教員採用選考に効果があるのかどうかを検証する。

3. 英語教育研究会の実施内容と効果

(1) 英語教育研究会の活動スケジュール

- ・2年生の後期から3年生の後期までの授業日に実施する。各学期15回とする。
- ・2022年度の時間帯は、下記のとおりである。

	<u>2年生</u>	<u>3年生</u>	<u>4年生</u>
	木曜日	水曜日	長期休業中
18:00～18:20	軽食提供	軽食提供	
18:20～19:50	研究活動	研究活動	

※ただし、教員採用選考1次対策の模擬試験や2次対策のEnglish Camp、模擬授業及び実技対策講座は、別途長期休業中に実施している。

(2) 小中高学習指導要領研究

本研究会では、中高の英語教員志望者にも、小中高の授業等の接続が円滑に進まないと生徒に不利益を及ぼすことが考えられることから、中高学習指導要領に加えて小学校学習指導要領も取り扱うこととしている。

【問題例】

令和5年度（2023年度）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考

英語 問題

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。(下線は筆者)

(2) 「中学校学習指導要領解説外国語編 第2章 外国語科の目標及び内容 第2節 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い (2) 内容の取扱い」に示されている内容として適当でないものを下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① コミュニケーションを支えるための文法指導では、文法用語などの使用は必要最低限にとどめ、実際の活用を主眼とした指導を心がけなければならない。
- ② 英語と日本語の言語的類似性や相互性に目を向けて、両言語を対比する形で英語指導に当たるとも、言語的感性を養うことを助け、英語使用に際しての気付きを促す上で有効である。
- ③ 文字指導については、小学校での指導事項となった活字体の大文字及び小文字を中学校においても引き続き指導するとともに、必要に応じて筆記体を指導してもよい。
- ④ 音声指導に当たっては、小学校における文字の名称の読み方の指導から、文字の表す音の指導に移行する必要があることから、中学校第1学年において教科用図書に用いられている発音表記を用いて指導しなければならない。

【解答 ④】

上記は中学校学習指導要領からの問題であるが、下線部に示されてい

るとおり小学校学習指導要領の知識が必要となっている。

(3) 英文構成トレーニング

英語教員には「聞くこと」や「読むこと」といったInputの技能だけでなく、「話すこと」や「書くこと」のOutputの技能が必要である。とりわけ、授業中での自然な会話の中でさりげなく正しい言い方を伝えるリキャストの技能は必須である。リキャストとは、生徒の誤った英語をその都度指摘して修正するのではなく、会話の流れを保ったまま適切な表現を提示することであり、生徒の意欲をそぐことなく会話を続けることができる方法である。

リキャストの技能を身に付けるためには、英語教員には英文を即座に構成する能力を身に付ける必要があり、そのためのトレーニングは欠かせない。その能力を測るため、千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考の英語問題には、下記のような英文の構成力を問う問題が毎年度出題されている。

【問題例】

令和5年度（2023年度）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考

英語 問題

3 Complete each sentence by arranging the given words in the correct order.

Then, mark the number of the word in each blank.

(1) Can you _____ last Sunday?

① went ② you ③ where ④ tell ⑤ me

(2) It's _____ your studies.

① about ② serious ③ you ④ time ⑤ became

(3) There is no doubt that the _____

to support their students.

① can ② best ③ is ④ do ⑤ teachers

(4) ST 制度

「敬愛大学英語教育研究会会則 第4条 (ST制度)」には次のように定められている。「3・4年の優秀会員に、専門研究(ゼミ)や英語教育研究会の補助をするSTとして依頼する」とあり、毎年度上級生が下級生を教えることで下級生をきめ細かく指導することができている。と同時に、上級生自身が教える経験を積むことにより、知識や技能がより定着するきっかけとなっている。

毎週水曜日と木曜日の18:00～19:50の活動時に先輩STが下級生に英文構成トレーニングを指導するため参加している。その結果、毎年会員の英文構成力は現職教員レベルに達している。

(5) スキット作成トレーニング

「中学校学習指導要領解説 外国語編 第2章 外国語科の目標及び内容 第2節 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)指導計画の作成上の配慮事項」に示されている内容には、以下の事項に配慮することとしている。

ア 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、具体的な課題等を設定し、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ること。(下線は筆者)

言語の使用場面には、家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事など、生徒の身近な暮らしに関わる場面や、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行、電話での対応、手紙や電子メールのやり取りなど、特有

の表現がよく使われる場面が考えられる。

また、言語の働きの例としては、①話しかける、相づちを打つ、聞き直す、繰り返すなど、コミュニケーションを円滑にする働きや、②礼を言う、苦情を言う、褒める、謝る、歓迎するなど、気持ちを伝える働きや、③説明する、報告する、発表する、描写するなど、事実・情報を伝える働きや、④申し出る、約束する、意見を言う、賛成する、反対する、承諾する、断る、仮定するなど、考えや意図を伝える働きがある。

中学校においては、上記のようなコミュニケーションの場面を意識し、同じ働きであっても場面に応じて異なる表現を用いるのが適切であることや、相手意識をもったやり取りを通して、相手の感情や気持ちに配慮した表現があることなどに気付かせ、お互いが理解し合える気持ちのよいやり取りができるように指導することが求められている。

したがって、本研究会ではコミュニケーションの目的や場面、状況別にスキットを作成するトレーニングを実施している。

(6) English Camp の概要

第6回 English Camp

目 的：英語によるディスカッションをとおして、論理的思考力と英語による実践的コミュニケーション能力を養う。

レベル：実用英語技能検定試験2級～準1級程度

日 時：令和4年8月3日(水) 11:00集合～18:00解散

8月4日(木) 9:00集合～18:00解散

8月5日(金) 9:00集合～15:30解散

場 所：敬愛大学

8月3日(水) A：3501教室、B：3502教室、C：3503教室

8月4日(木) A：3401教室、B：3402教室、C：3403教室

8月5日(金) A：3603教室、B：3602教室、C：3601教室

対 象：中高英語教員志望者で全日程参加できる2～4年生

各クラス最大6名まで計18名（超過する場合は3年生を優先。ま

た、同学年希望者多数の場合は抽選)

講師：6名予定（ネイティブ・スピーカー3名を含む）

内容：まず、テキストを読んでくることを前提に、トピック毎にブレインストーミング及びディスカッションを行う。その後、各自が自分の意見をまとめ、ネイティブの先生の個別インタビューに答える。最後に、自分の意見をまとめて書く訓練を行う。英語4技能・5領域統合型授業である。

費用：授業料無料、テキスト代1,500円程度。

日程（予定）：

	1限	2限	昼食	3限	4限	5限
第1日		Self-	Lunch	Topic①	Topic②	Topic③
		introduction				
第2日	Topic④	Topic⑤	Lunch	Topic⑥	Topic⑦	Topic⑧
第3日	Topic⑨	Topic⑩	Lunch	Topic⑪	Reflection	

The topics of the English Camp

○ The first day

Self-introduction

Topic 1 These days, many parents give their children smartphones or tablets to use. Do you think children should have these electronic devices?

Topic 2 Some people say that students spend too much time doing club activities at school. Do you agree with this opinion?

Topic 3 Some people say that people will stop using cash in the near future. Do you agree with this opinion?

○ The second day

Topic 4 Thanks to improvements in information technology, it is possible to work outside the office. Do you think the number of people doing so will increase in the future?

Topic 5 These days, many automobile companies are developing self-driving cars. Do you think people will stop driving cars by themselves in the future?

Topic 6 It is said that too much food is wasted in Japan. Do you agree with this opinion?

Topic 7 Today, the number of local bookstores is decreasing. Do you think local bookstores will disappear in the future?

Topic 8 Some people say that hikers and climbers should pay a fee to use mountains. Do you think this is a good idea?

○ **The third day**

Topic 9 Some people say that Japanese people do not need to study English. Do you agree with this idea?

Topic 10 These days many people prefer to watch videos on the Internet instead of watching TV. Do you think more people will do so in the future?

Topic 11 Agree or disagree: Children in Japan should begin learning English before they start elementary school

2022.8. English Camp に参加して

アンケート結果 17 名中 12 名回答 (コロナ関連で最終日 5 名欠席)

問1 この English Camp に参加して満足しましたか。

	学年	男女	クラス	おおいに 満足	おおむね 満足	やや 不満足	かなり 不満足
1	3	男	A		○		
2	2	男	A	○			
3	3	女	A	○			
4	2	女	A	○			
5	3	男	A	○			
6	2	女	B	○			
7	3	男	B		○		
8	2	男	B	○			

9	3	女	C	○
10	3	女	C	○
11	3	男	C	○
12	3	女	C	○

割 合 83.3% 16.7% 0% 0%

考 察：3日間活発なディスカッションができ、参加者全員の満足度は高かった。

問2 自分の参加姿勢を振り返って、積極的に参加できましたか。

学年	男女	クラス	かなり 積極的	おおむね 積極的	やや 消極的	かなり 消極的
1	3	男	A	○		
2	2	男	A	○		
3	3	女	A	○		
4	2	女	A	○		
5	3	男	A	○		
6	2	女	B	○		
7	3	男	B	○		
8	2	男	B	○		
9	3	女	C	○		
10	3	女	C	○		
11	3	男	C	○		
12	3	女	C	○		

割 合 83.3% 16.7% 0% 0%

考 察：積極的に参加できたことと満足度の高さが相関していることが判明した。

問5 このEnglish Campで改善すべきだと思った点がありますか。

- ・コミュニケーションの時間が多くあり、とても良かったと思う。
- ・文法がしっかりしてなくても先生がくみ取ってくれた点は良いと

思うし、嬉しかった。

- ・もっと定期的に実施してほしい。
- ・もっといっぱい開催してほしいです。

中学校・高等学校の教員免許状取得を目指す学生に中学校及び高等学校外国語科の目標を達成させる英語力と指導力を身に付けてもらうためにEnglish Campを実施し、参加学生の4技能・5領域のバランスがとれたコミュニケーション能力の向上に寄与している。

＜中学校学習指導要領 外国語科の目標＞

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

＜高等学校学習指導要領 外国語科の目標＞

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(7) 神崎町英語チーム・ティーチングたまごプロジェクト

神崎町英語チーム・ティーチングたまごプロジェクト参加者募集

2022.8.11. 担当：井上 茂

- 1 内 容：ALT（外国語指導助手）が担当する小学校及び中学校の外国語の授業を参観したのち、ALTとのTTを経験する。
- 2 日 時：令和4年10月19日（水）から該当水曜日 計8回
- 3 行 程：小学校9：10～12：50
往路 稲毛駅7：47→成田駅8：31 乗り換え8：41→
下総神崎駅9：01 小学校まで送迎あり

復路 小学校から送迎あり 下総神崎駅13:04 →

千葉駅14:10 乗り換え14:20 → 稲毛駅14:25

4 学校名：神崎町立米沢小学校または神崎市立神崎中学校

5 経費等：稲毛駅から下総神崎駅までの運賃及び給食費は神崎町が負担する。参加学生は事故等のために保険に入るが、この費用についても神崎町が負担する。

6 対象者：

- ・中高英語教師を目指し、英語教職課程を履修している本学3、4年生
- ・相手校では礼儀正しく、先生方の指導に従うことができること
- ・英語検定試験2級取得またはTOEIC550点以上であること

千葉県主催の「たまごプロジェクト」よりも回数が少なく、学生にとって負担が少ないうえ、なかなか機会の少ない英語のティーム・ティーチングに専念できるので学生に好評である。また、神崎町教育委員会からは、大学生が教えてくれることでこどもたちの学習意欲が高まっているという報告が届いている。これまで神崎町教育委員会とはウィンウィンの関係を築けている。

(8) 千葉県・千葉市英語教員採用選考用模擬試験の作成及び実施

千葉県・千葉市英語教員採用選考1次試験専門教科「英語」問題とはほぼ同様の模擬試験を3年生の3月末と4年生の6月末に実施している。毎年同レベルの問題を課すことで、その時点での各学生の強みや弱点を把握し、指導に活かしている。また、各学生の得点から合格の可能性を判断している。

(9) 実技（インタビュー及びティーム・ティーチング模擬授業）対策

8月6日(土)のTT practiceについて

時 間：9:00～12:30

場 所：3601教室

内 容：① Interview (10 mins × 5 students) 9:05～10:10

- ・ *Why do you want to be a teacher of English?*
 - ・ *What is your plan to enhance English proficiency of your students?*
 - ・ *Many English classes at junior or senior high schools are taught only in English. Do you think this is a good way to study English?*
 - ・ *Comment from the interviewer (2 mins)*
- ② *TT practice (20 mins × 5 students) 10:20 ~ 12:30*
- ・ *Making a plan with an ALT (5 mins)*
 - ・ *TT lesson (8 mins)*
 - ・ *Comment from an ALT (7 mins)*

＜アンケート用紙＞

2022.8. English Camp (4日目) に参加して

____ 年生・既卒 男・女 国際・こども

1 この English Camp (4日目) に参加して満足しましたか。

- () 大いに満足した
- () おおむね満足した
- () やや不満足だった
- () かなり不満足だった

2 Interview の練習についての感想を書いてください。

3 TT practice についての感想を書いてください。

＜アンケート集計結果＞

教採1次合格者5名 (男2名、女3名)、全員国際学科生

1 このEnglish Camp (4日目)に参加して満足しましたか。

- () 大いに満足した …………… 3名
- () おおむね満足した …………… 2名
- () やや不満足だった …………… 0名
- () かなり不満足だった …………… 0名

2 Interview の練習についての感想を書いてください。

- ・ ネイティブの雰囲気の中で練習することができたので、実際の試験がより想像しやすくなりました。準備していた質問に加え、会話中の質問でアイコンタクト、表情のアドバイスをいただきとても勉強になりました。
- ・ 実際に2次面接で英語面接を受けているようで、緊張感を高めることができた。Interview 中、考えている時に目が泳いだりしてしまったことがあったので、そこはしっかりと練習してアイコンタクトを大事にしていきたいと思った。また、深堀りされた質問もされると思うので、準備を進めてどんな質問をされても、答えられるようにしていきたい。
- ・ 自分が言った答えについて、次にどのような追加質問をされるかある程度考えておく必要があると思った。自信を持って受け答えできるよう、練習を積んでいこうと思う。
- ・ 英語で伝える→深堀りされる、という流れを体験することができた。本番では準備していなかった質問も考えられるので、その際の対処法や練習をしたかった。アドリブ力を付けたい。
- ・ キーワードを用意していくことが重要だと感じました。十分な時間を使って相手の分かりやすい文章を構成していくべきだと経験して分かりました。

3 TT practice についての感想を書いてください。

- ・ TT の練習についても、今まで一度も練習をしたことがなかったので、とてもこのような機会はありがたく感じました。先生も最後まで学生を尊重しながら、サポートしてくださっていたので、とても

わかりやすかったです。同時に他の学生のものを見る機会がなかったので、(今回見ることで)自分の新しい構想に繋げることができました。

- ・ *TT practice* は、初日ということもあり、オローラ先生と授業を行った時、グタグタの授業になってしまっていた。また、話し合いの際にも自分から *dialog* をあまり提案できていなかったの、たくさんのレパトリーを準備し、どのテーマが来ても話し合いをスムーズにできるようにしていきたい。そして、ALT 中心ではない授業をしていきたい。
- ・ 5分間を有効に使うためにどうすれば良いか、しっかり考えたい。また、ALT をうまく使える授業構成も考えておこうと思った。
- ・ 想定だが、本番の ALT よりも手厚くサポートしてくださったので、もっと *JTE* (日本人英語教員) からアプローチすべきだと感じた。このままでは本番で、*JTE* 主体で授業を行っている判断されないと感じた。授業プランニングの際に行き詰まった際の対処法も知れると良かった。
- ・ 初めて経験したので、準備・授業時間ともに歯がゆい思いをしました。内容やコミュニケーションなど上手いかなかったですが、試験本番に近いものを経験できて良かったです。

今年度初めて「実技 (インタビュー及びチーム・ティーチング模擬授業) 対策」をネイティブの先生を招いて、本番さながらに実施した。学生には、事前に概要を伝えておいたが、多くが教育実習でもチーム・ティーチングを経験しておらず、とまどう場面が多かったが、学生は必死に *TT* 授業に取り組んだ。その甲斐もあって、後日振り返らせ再チャレンジさせた際には、改善点を見直し、短期間に2次試験で通用する程度にはできるようになった。

2023年度千葉県・千葉市教員採用選考英語中高共通枠等で過去最多のべ6名の学生を現役で合格させることができた。その要因の一つとし

て、学生からも高評価を得た今年度初めて実施した English Camp 4 日目の実技対策講座（Interview と TT practice）を挙げることができるであろう。

（10） 模擬授業対策

2 年次、3 年次の英語科指導法で、指導してきたことを下記のようにポイントをもとめて、改めて意識させるようにしている。

教員採用選考 2 次試験・模擬授業のポイント

【大前提】

- ① 英語によるコミュニケーション能力を育成する。
- ② 言語活動を通してコミュニケーション能力を育成する。
- ③ 文法を日本語で説明しない。

【ポイント】

- 6 分間の模擬授業の流れを考える。
- 6 分間で 4 技能・5 領域のすべてを扱うことは難しい。期待されていない。
- 目標と離れるので、3 つの質問（曜日、月日、天気）は省く。
- 音声から文字へ、易から難へ、スモールステップを考える。音声の段階では、ジェスチャーや絵または単語や簡単な表現が有効。英文を書く時間的余裕はない。
- インプットからアウトプットへ。
- まずは、理解させる。先生がやって見せる。
- 次に、練習（ドリル）をしてから、生徒に考えさせて言わせる。選択肢を示せば、スモールステップとなる。
- 受験生の生徒役ならばすぐできるようになるので、ペアワークを実施し発表させることもできるが、ペアワークが必須ではない。

意欲のある学生ほど、取り入れたいアイデアがたくさんあり詰め込みたがるが、2 次試験の 6 分間の模擬授業では、中学生にも分かりやすい授業となるように的を絞って、簡単な情報や考えなどを理解したり表現

したり伝え合ったりする言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成する授業にすると良い、と指導している。

(11) 英語教職交流会

第5回 敬愛大学英語教職交流会 (2022)

主催 敬愛大学英語教育研究会

日 時：令和4年8月11日(祝) 10:00～14:00

場 所：敬愛大学 未定

第1部 総会 (10:00～10:50)

- 1 会長挨拶 川口会長
- 2 現職教員・講師から勤務状況報告 卒業生全員

第2部 座談会 (11:00～12:15)

- 1 「教師の仕事」について 卒業生・4年生
- 2 「教員採用選考」について 卒業生・4年生

第3部 昼食会 (12:20～13:00)

- 1 現職教員・講師と学生の交流 卒業生・4年生
- 2 締めめの挨拶 五木田副会長

第4部 第2次対策「模擬授業」(13:00～14:00)

卒業生・1次合格の4年生

本研究会は、在学中から教員になった後も、先輩が後輩を教える体制を整えている。在校中はST制度により先輩が後輩を指導・助言する制度が確立しており、卒業後は現役英語教員が1次試験合格の4年生や講師の模擬授業の指導・助言に当たることとしている。

2022年8月の敬愛大学英語教職交流会後に第4部として、6名の中高の先生方が1次試験合格の4年生と講師の模擬授業を参観し、指導・助言を行ってくれた。受験生はその的確なアドバイスを取り入れ、改善を加え、そして本番の2次試験に臨んだ。

(12) 「傾向と対策」を作成

毎年、本研究会の4年生は受験した千葉県・千葉市教員採用選考1次試験と2次試験の内容とその対策までをまとめて後輩たちに残すこととしている。

2023年度版については、以下のようにまとめた。

2022年度4年次英語教育研究会メンバー作成

☆1次試験の流れ

●専門教科 (60分30問)

- ①学習指導要領4問〈中、高2問ずつ出た〉
- ②空欄補充6問〈品詞問題や動詞の活用形、語彙問題など〉
- ③並び替え3問〈部分点なし完答のみ〉
- ④長文穴埋め1題4問
- ⑤長文読解3題

●教職教養 (30分20問)

- ・学習指導要領に関する事項 (小中高特支からそれぞれ)
- ・教育法規に関する事項
- ・千葉県千葉市の教育に関する事項
- ・一般教養(教育時事を含む)に関する事項 *今年から増えた説

●集団面接・討議 (約20分)

- ・今年の質問「協調性を高めるために心がけていることは何か」
- ・45秒構想の時間→考えがまとまった者から挙手をし、30秒程度で発表
- ・討議のテーマ「児童生徒とコミュニケーションを取る上での配慮について」
- ・10～15分ほど討議する。テーマが発表された後、すぐに討論に入る。

☆2次試験の流れ

●模擬授業 (1人6分)

- ・条件：学習指導要領の内容に沿った授業を展開。生徒の主体的な活動を含んだ内容。話し合い活動等では席を立たないように。
- ・中高どちらでも可 (志望問わず)
- ・学校種、学年、単元を書き、5分間で略案作成→一度回収され、授業実施者のみに渡される。実施者はその紙を見て授業を行う。(見なくてもできるようたくさん練習すると良い)
- ・授業後も回収される (略案も評価の対象になっている説)
- ・実施者以外は生徒役をし、意欲的な態度が望ましい。

●個別面接 (1人25分程度)

- ・志望動機や自分に関わる様々な質問 (別紙参照)

●適性検査 (50分程度)

- ・合否には影響ありません。気楽に受けましょう。(制限時間があるので、時間内に終わるように注意してください。)

●実技試験 (英語面接2、3問・ティーム・ティーチング)

〈英語面接〉

- ・質問内容「What made you be a teacher of English?」←おそらく鉄板
- ・その他別紙参照

〈ティーム・ティーチング〉

- ・2つのトピックから1つを選択
- ・ALTと4分間で授業構想
- ・6分間授業を行う。指導主事(日本人)が一人で生徒役をしてくれます。

☆1次試験対策

●専門教科 (60分30問)

① 学習指導要領4問〈中、高2問ずつ出た〉

- ・配点が唯一4点なので、全問正解する意気で臨みましょう！
- ・ここ数年、解説からの出題であるため、解説をよく読むと良い。

- ・小、中、高それぞれの違いを把握しておくと言答問題にも対応できる。

② 空欄補充6問

- ・TOEICのPart 5や、他の自治体の過去問をたくさん解くと良い。

③ 並び替え3問

- ・研究会でやっているものは3周くらい復習しましょう。
- ・倒置や省略、前置詞＋whichなどに注意！

④ 長文穴埋め1題4問

- ・全文読まなくても、前後の文章から推測して答えることができる。

⑤ 長文読解3題

- ・学術的な文章（特に教育に関連したもの）が多め。
- ・過去問3年分は解いておくとうい。
- ・英検準1級相当の語彙レベルは身につけておきたい。

●教職教養（30分20問）

- ・まずは千葉県がどのような問題傾向にあるかを確認することが大切。
- ・第3期千葉県教育振興基本計画や第2次千葉市学校教育推進計画、千葉県・千葉市教員等育成指標をよく調べ、千葉県が行っている教育政策や特徴について把握する。
- ・千葉県の過去問ばかりを解くのではなく、2022年度実施の全国の教職教養の問題をひたすら解くと良い。特に茨城などの出題傾向が近い自治体を要チェック。
- ・教育心理や教育史など、数年にわたって出題されていない分野は思い切って捨てることが近道。しかし、他の自治体を併願する者は要注意。
- ・不登校やいじめ、在留外国人、ICT（Information, Communication and Technologyの頭文字）などの、ホットな話題が毎年出題されています。
- ・令和の日本型学校教育、来年出るかも。

●集団面接・討議（約20分）

- ・予想される様々な分野に対応できるよう、引き出しを増やす。
- ・教育学部の先生主催の対策講座に出ている学生もいた。小学校を受験する学生の考えも聞くと自分の引き出しも増えるため、とても良い。
- ・同じ受験する仲間や友達同士で本番を想定した模擬演習を行うと自信がつく。
- ・本番は敬愛大学内で練習している雰囲気とは全く異なることが想定されるため、様々なパターンに対応できるよう練習すると良い。
(司会を立てるのか否か、タイムキーパーの有無など)
- ・他の受験生に対する立ち振る舞い(聞く姿勢、うなずき、視線、否定から入らない)などに注意。発言のし過ぎにも注意。これらはすべて協調性がないとみなされる。

☆2次試験対策

●模擬授業 (1人6分)

- ・高校志望で中学の内容をやっても可否には関係ない。
- ・授業は最初の導入から行うことは求められていない。(How are you? 等はなくとも良い)
- ・一度自分で授業を考えてから井上先生や友人に見てもらい、みんなでより良いものにしていく。個人戦のように見えて、団結が求められる。
- ・板書計画も考えておく。
- ・授業の目標は何にするか、どのタイミングで生徒に提示するかをよく考える。
- ・目標は生徒にとってゴールの見えるものにとすると良い。

(例) × You will be able to use “to do” sentences.

○ Let's think about your future.

この目標は、不定詞の授業を想定したものだが、「将来について語ろう」と題して自然な流れで *want to do* を使わせることがねらいで

ある。そのため、文法を教え込むような目標設定は望ましくない。

- ・ 6分間の限られた時間の中で、自分が授業でやりたいことをアピールできるかを考えると良い。

●個別面接（1人25分程度）

- ・ 集団面接の練習で培った引き出しをさらにオリジナルなものにさせていく。
- ・ 集団面接・討議は論理的な内容でも良いが、個人面接は情を出して自分の言葉で面接官に伝える必要がある。
- ・ 結論が先。その後に具体的な理由を簡潔に述べる。
- ・ 自分が多く語りすぎると面接官が質問しにくくなる。（20～45秒目安）
- ・ 自分の答えたことに対して質問される。
- ・ 答えたことに矛盾がないように、一本軸をしっかりと作っておくこと！

【個別面接内容例】

- ・ 自己アピール含めた自己紹介を1分で
- ・ 自分の長所短所は
- ・ 学校に活かせるあなたの長所は
- ・ 周りからどのような性格だといわれているか
- ・ 友人からどのようなイメージを持たれていると思うか
- ・ なぜ千葉県を受験したのか
- ・ なぜ第一希望が中学／高校なのか
- ・ 希望地域の確認、希望外でも働けるか、一人暮らしは大丈夫か
- ・ なぜ教員を目指したのか、きっかけは
- ・ 特別支援学級に配属されても大丈夫か
- ・ あなたが思う教員にとって一番大切なことは何か
- ・ あなたが教員になったら生徒にどんなことができるか
- ・ どんな生徒を育てたいか
- ・ どんなクラスにしたいか

- ・どんな先生になりたいか
- ・これからの社会に必要な力は
- ・今の教員が地域や社会から何を求められているか
- ・今の生徒の特徴は（実習での感想など）
- ・いじめについてどう対応するか
- ・いじめを起こさないためにどうするか
- ・教員の不祥事について知っているものは、その原因は、自分ではしてしまわないか
- ・不祥事をなくすためには
- ・初任でやりたいことはあるか
- ・アルバイトはやっているか、そこで学んだことは
- ・アルバイトでのクレーム対応
- ・最後に一つ言い残したことはないか、言いたいことはないか

●実技試験（英語面接2、3問・ティーム・ティーチング）

〈英語面接〉

- ・様々な問題に対応できるよう、自分の考えをまとめておく。
- ・友達同士で声に出して練習する。
- ・自分の答えた内容が深堀りされることもあるので、想定して答えを考えると良い。

〈ティーム・ティーチング〉

- ・ALTにも個性があるため、どんなALTにあたっても狼狽えないように覚悟しておく。
- ・どんなお題にも対応できるように準備をたくさんしておく。
- ・ある程度の流れを決めておくと対応しやすい。
- ・生徒を褒める言葉をたくさん使うと良い。
- ・とにかく明るく元気に行う。
- ・友達同士で受験者・ALT・指導主事役をし、4分間の構想から6分間の授業実施まで通して練習する。

2023年度千葉県・千葉市教員採用選考1次試験英語の学習指導要領の問題では、中高の学習指導要領の知識だけではなく、小中の授業等の接続の観点から小学校学習指導要領の知識も必要であった。また、2次試験英語の実技では、ティーム・ティーチングの時間配分が変更になり、短くなった。

4. 効果に対する考察

(1) 1次試験（専門教科「英語」を含む）の合格率

本会員の英語教員採用選考合格率（1次及び2次）

受験年度	受験者数	1次合格者数（％）	2次合格者数（％）
2017	1	1（100％）	1（100％）
2018	4	4（100％）	2（50％）
2019	0	0	0
2020	5	4（80％）	4（80％）
2021	2	2（100％）	0（0％）
2022	9	8（89％）	6（67％）

※ 2022年度はのべ数

本研究会では、英語教職課程履修者の2年次後期に新会員を募り、3、4年生クラスとは別に、2年生クラスをスタートさせる。2年生クラスでは、上級生がSTとして手伝いながら、英語教員採用選考1次対策を1年半をかけてみっちり行う体制を整えている。したがって、教職センター主催の集団面接・教職教養対策講座と合わせた結果、1次試験の合格率は極めて高いものとなっている。

(2) 2次試験の模擬授業及び実技

2021年度に受験した2名は、共に日本語での「個別面接」で合格点に

達していなかったことから不合格となった。2022年度の受験生（会員）には早い時期から個別面接の準備を始めるよう伝え続けた。

また、2次試験の模擬授業については、十分練習させてから、現役の英語教員に模擬授業を見てもらい、アドバイスをしてもらおうように変更した。そのことにより、より一層高度なアドバイスをしてもらえるようになった。

実技（インタビュー及びチーム・ティーチング）においても、ネイティブ・スピーカーの先生にALT役をお願いし、受験生には本番とほぼ同様の方法でインタビューでの受け答えやチーム・ティーチングを行わせた。実技に関しては、受験生はそもそも経験が不足していることから、最初は戸惑う場面が多々あったが、他の受験生の様子を参観でき、また、ネイティブ・スピーカーの先生からきめ細かな助言をいただき、充実した対策講座となった。

その結果、本学始まって以来の、英語教員採用選考において現役6名合格という最多の成果を挙げることができた。

（3） 本学卒業の英語教員の活躍

過去6年間に、現役では12名が英語教員（高校3名、中学9名）になったが、この6年間に講師を経て英語教員になった卒業生も5名（高校3名、中学2名）いる。

そのほとんど（15名／17名）が本研究会の会員であった（会員でなかった2名は、本研究会が発足する前の卒業生）。卒業後も「英語教育研究会 現職の会」の会員として、2次試験対策講座での指導や学生募集でも本学を応援してくれている。たいへん有難く、たいへん頼もしい先生方である。

（4） 英語教育研究会の存在価値

本研究会は、中高英語教員志望の学生に「英語教員になるための指針」を示し、上級生や現役英語教員の支援を得ながら、英語教員採用選考合格のための対策講座を開催している。その結果、英語教員志望の学生は、

入学時の志望を維持しつつ教員になるための授業や対策講座に励むことができる。本研究会は、自主的な研究会であるため、主催者がいなくなれば消滅する可能性もある点で脆弱性を帯びている。入学試験の面接では受験生から「敬愛大学には中高の英語教員になるために教職センターや英語教育研究会が手厚くきめ細かな対策講座を用意してくれているから志望した」という声も聞かれるようになった。したがって、存在しなくなれば中高英語教員志望者も英語教員採用選考の合格者も減少してしまうことが推測できることから、存在価値は大いにあると考える。今後も本研究会が継続し続ける方策を強く望むところである。

5. 終わりに

そもそも中高英語教員になるためには、CEFR B2（英検準1級）レベルの英語力が必要であるが、本学国際学部英米語専攻の充実した英語教育のおかげで、中高英語教員志望者の英語力が入学時に比してバランス良く伸長しているため、英語教員採用選考の対策講座が活きているのだと考える。そして、本学卒業生から英語教員が増加しているのは、本学の充実した英語教育、教職センターのきめ細かな指導、さらに本研究会の対策講座が合わさっての総合力の成果だと考える。

2022年度は、筆者が2015年度に着任してから8年目に当たる。英語科指導法を2年間教えた最初の学生の1名が筆者の在職3年目に英語教員採用選考に合格した。本研究会もその学生への対策講座に合わせて、発足し発展してきた。その後、英語教員採用選考受験者がいない年度もあったが、中高英語教員を志望する学生には全員現役で合格させられるように指導をしてきた。

現役での合否にかかわらず、本人が進路変更しない限り「合格するまで面倒を見る」という考えで、講師をしている卒業生にも連絡を取り続けている。筆者の勤務は後2年であろうが、本学英語教職課程と千葉県英語教育発展のために微力ながら頑張り続ける所存である。

(参考文献)

- ①『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』文部科学省
- ②『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編』文部科学省
- ③『令和5年度（2023年度）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考 英語問題』千葉県教育委員会
- ④『英検分野別ターゲット 英検2級ライティング問題』旺文社
- ⑤『英検分野別ターゲット 英検準1級ライティング問題』旺文社